

授業科目

臨床神経学

担当教員名 今村 徹	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・義肢
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎			○

授業の概要

本科目は前期に開講した『神経科学』を引き継ぐ科目である。前期の学習内容をもとに神経疾患の学習を進める。

授業の目的

臨床現場では、神経科学の知識に基く論理的な病態理解とともに、患者の臨床像を症候群として把握する能力も重要である。後者の学習のために、病態生理学、疾患各論と症候学、診察検査法等をできるだけ関連させて授業を進める。

学習目標

代表的な神経疾患について、神経科学の知識に基く論理的な病態理解と、臨床像の症候群的理解の両者を身に付けることが目的である。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	臨床症候群という考え方		今村 徹
2	大脳基底核疾患		今村 徹
3	筋疾患	・すべての授業を講義形式で行う	今村 徹
4	神経筋接合部疾患、末梢神経疾患	・以下の資料を学内LAN経由で学生に	今村 徹
5	神経根・脊髄疾患	あらかじめ配布する	今村 徹
6	脳幹・脳神経疾患 (1)	(1) 講義資料のPowerPointファイル	今村 徹
7	脳幹・脳神経疾患 (2)	(2) 過去の定期試験・再試験問題とその解説	今村 徹
8	脳幹・脳神経疾患 (3)		今村 徹
9	小脳疾患		今村 徹
10	意識、覚醒、注意とその障害		今村 徹
11	記憶障害		今村 徹
12	その他の認知機能障害		今村 徹
13	認知症		今村 徹
14	トピックス		今村 徹
15	まとめ		今村 徹

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	簡要神経学 (第4版)	岩田誠、岩田淳訳	MEDSI	2006年	3,800円+税	前期の『神経科学』で購入済
参考書						
その他の資料	(学習方法の欄に記したとおり)					

評価方法

定期試験のみで評価する

履修上の留意点

脳血管障害など『神経科学』で扱った疾患の一部は、授業の主題には含めないが、定期試験の出題範囲には含める。

オフィスアワー・連絡先

質問等はまず下記のアドレスに連絡してアポイントメントを取ってほしい。

言語聴覚学科 今村徹
imamura@nuhw.ac.jp